(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月29日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都千代田区神田三崎町二丁目5番3号 氏 名 鉄建建設株式会社 東京鉄道支店 常務執行役員支店長 三宅 信次

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3221-2250

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鉄建建設株式会社 東京鉄道支店
事業場の所在地	東京都千代田区神田三崎町二丁目5番3号
計 画 期 間	令和5年4月1日~令和6年3月31日
当該事業場において現に行	テっている事業に関する事項
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 3,313,100万円
③従 業 員 数	358名
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	- 廃棄物の処理に係る	· 管理体制)	こ関する	(第2] 事項	4/	
	(管理体制図) 別添2 管理体制図の		. 1247 4			
産業	英廃棄物の排出の抑制(こ関する	事 項			
		【前年度) (令和	4 年度)	実績】	
		産業	廃棄物の)種類	建設汚泥	その他の汚泥
		排	出	量	3, 647. 38 t	260. 15 t
	①現状	令和5年 る。①材の 相包物の 出出出 量。化率 が の が は の が の に の が の が の が の が の が の に の に の に	度「環境 は出用に りましま り.5kg/ 施減を に 施減を	抑制する 努める。 施工床 m 積の確定 さむ) 92%	取組) 画書」に則り以下具体的 為、前年度同様省梱包 対等は加工したものを ②建築の新築工事にお 『以内(新築工事の床面科 『以内(新築工事の床面科 『以上、(土木91%,建築93 『は100%(日党祭理)とよ	、リターナブル容器や 搬入し、端材による排 ける建設混合廃棄物の 責あたりの原単位排出 。)③建設汚泥の再資 %)を目標 ④土木の建
		【目標】		15.WT	7h 30 Yr Yr	Z O M O Z VI
		LII	廃棄物の		建設汚泥	その他の汚泥
	②計画	令和 ①材の 相 ②材の 間 出 動出 出 世 量。 化 率	F度「環 学出量を 対量化に 対量化に 9.0kg/ が上面	抑制する 努め、木 努める。 施工床 m	上画書」に則り以下具体 為、前年度同様省梱包 は材等は加工したものを ②建築の新築工事にお の以内(新築工事の床面科 が難しい工事は対象外	的な適正処置を推進す 、リターナブル容器や 搬入し、端材による排 ける建設混合廃棄物の 責あたりの原単位排出
産業	達廃棄物の分別に関する		· · · · · · ·	7 · 국무 게스 드급 :	去礼。 みなが ロッド ロウェ	며 느 ㅋ ㅠ ʌㅁ\
	①現状	作業所	内は分別	川しやすり	棄物の種類及び分別に いように整理し保管場所 なする。また啓蒙教育も	所を定め、分別状況も
	②計画				産業廃棄物の種類及びタ 関する取り組みを継続し	

産業	廃棄物の	が排出の	抑制に関	する事項						
	【前年度) (令和	4 年度)	実績】						
	産業	廃棄物の)種類	廃油		廃プラスチック類	Ś	企属くず		ガラス陶磁器等くず
	排	出	量	1.46	t	213. 33 t		404. 22	t	563.45 t
	【目標】									

廃プラスチック類

192.00 t

金属くず

363.80

ガラス陶磁器等くず

507.11

t

廃油

1.31

t

産業廃棄物の種類

出

量

排

수 게임	****	م النالل م	上の出り マ BE	ルフまで			
産業				する事項			
	【前年馬	ま (令和	4 年度)	実績】			
	産業	発棄物の	種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
	排	出	量	7,017.61 t	1, 148. 72 t	3, 248. 55 t	239. 32 t

【目標】

産業原	廃棄物の)種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
排	出	量	6, 315. 85 t	1,033.85 t	2, 923. 70 t	215.39 t

産業	廃棄物の	種類	紙く	くず	木くず		繊維くず		建設混合廃棄物
排	出	量	4	14. 19 t	554. 43	t	2.46	t	1, 117. 58
【目標】									
	廃棄物の	種類	紙く	<u></u>	木くず		繊維くず		建設混合廃棄物

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	廃棄物の 出	量	廃蛍光ラン 12.	39 t	 t		_	t		_
						<u> </u>			l	
【目標】										
	 廃棄物の	○種類	廃蛍光ラン	ィプ類			_			_
)種類 量		ンプ類 15 t	 t			t		

		4 年度)	<i>一</i> 天祖】							Τ		
産業	廃棄物の	種類		-		_		_			-	
排	出	量		_	t	_	t	_	t		-	_
「 口 +悪 \												
【目標】		def stee										
	廃棄物の)種類		_		-						
)種類 量			t	-	t		t		-	
産業	廃棄物の				t	-	t		t		-	
産業	廃棄物の				t	-	t		t		-	
産業	廃棄物の				t		t	-	t		-	

自ら行う産業廃棄物の再	生利用に関する事項		
	【前年度(令和4 年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
44 HT	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t
①現状	(これまでに実施した耳	文組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
@#J.#F	自ら再生利用を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t
②計画	(今後実施する予定の即	又組)	
占 > / > 才业应 专业 。	181 (n em.) = 181] - 21 - 21 - 22 - 22 - 23		
自ら行う産業廃棄物の中		けがます	
	【前年度(令和4 年度)	_	w - 11 - Veve
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t
①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した即	文組)	
	【目標】	74-71)** \	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の耳	- t	- t
	「万俊大旭りる」だり「	XXII.)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら再生利用を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

1 1 1 0312				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第3面)-4 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和4 年度)実績】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず 繊維くず 建設混合廃棄物 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず 繊維くず 建設混合廃棄物 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和4 年度)実績】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず 繊維くず 建設混合廃棄物 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず 繊維くず 建設混合廃棄物 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

【前年度(令和4 年度)	実績 】			
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	-	-	-
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	-
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	-	-	-
自ら再生利用を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	_
 - 行う産業廃棄物の中間処	理に関する事項			
【前年度(令和4 年度)	実績】			
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	-	-	-
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	_
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	_
【目標】			-	_
【目標】 産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	-		
	廃蛍光ランプ類 - t	- - t	- t	
産業廃棄物の種類自ら熱回収を行う			- t	
産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減	- t	- t		

自ら行う産業廃棄物の再生利		<u> </u>		
【前年度(令和4 年度)	実績】			
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
		•	•	
【目標】				
産業廃棄物の種類	-	-	-	-
自ら再生利用を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら行う産業廃棄物の中間処 【前年度(令和4 年度)				
産業廃棄物の種類	- 大側】	_	_	
度素廃業物の種類 		_	_	
産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	_	-	_	_
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

り1丁リ 医	勿の埋立処分又は海洋投入処分に 関	する事項		
	【前年度(令和4 年度)美	ミ績 】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥	
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	t -	,
	(これまでに実施した取組	1)		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥	
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_	t -	
を廃棄物の処理 の	の委託に関する事項 【前年度(令和4 年度)実	3.结】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥	
	全処理委託量	3, 647. 38	t 260. 15	
		0, 011.00		
	優良認定処理業者への処理委託量	320. 98	t 89. 10	
			t 89. 10 t -	
①現状	への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量	320. 98		
①現状	への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者	320. 98	t -	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	1.46 t	213. 33 t	404. 22 t	563.45 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1.46 t	213. 33 t	404. 22 t	563.45 t
再生利用業者への 処理委託量	1.46 t	102. 20 t	379.69 t	487.15 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
総定熱凹収業有以 外 の熱回収を行う業 老	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	7,017.61 t	1, 148. 72 t	3, 248. 55 t	239. 32 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1,448.76 t	551.66 t	2, 831. 68 t	239. 32 t
再生利用業者への 処理委託量	4,851.40 t	551.48 t	2, 293. 65 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
総定無回収業有以 外 の熱回収を行う業	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
全処理委託量	44.19 t	554.43 t	2.46 t	1,117.58 t
優良認定処理業者 への処理委託量	44.19 t	551.83 t	2.46 t	1, 117. 58 t
再生利用業者への 処理委託量	36.75 t	363.13 t	2. 28 t	793. 52 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
総定無回収業有以 外 の熱回収を行う業 老	- t	- t	- t	- t

【前年度(令和4 年度)				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	-	_	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	-
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	-	-	_
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う	- t	- t	- t	-
産業廃棄物の量 産棄物の処理の委託に関 【前年度(令和4 年度)				
産業廃棄物の量		-	-	-
産業廃棄物の量 産棄物の処理の委託に関 【前年度(令和4 年度)	実績】	- - t	- - t	-
産業廃棄物の量 産業物の処理の委託に関 【前年度(令和4年度) 産業廃棄物の種類	実績】 廃蛍光ランプ類			-
産業廃棄物の量 産業物の処理の委託に関 前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者	実績】 廃蛍光ランプ類 12.39 t	- t	- t	
産業廃棄物の量 産業物の処理の委託に関 前年度(令和4年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量	実績】 廃蛍光ランプ類 12.39 t 12.39 t	- t - t	- t	
産業廃棄物の量 産業物の処理の委託に関 前年度(令和4年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者	実績】 廃蛍光ランプ類 12.39 t 12.39 t 12.39 t	- t - t - t	- t - t - t	

自ら	 行う産業廃棄物の埋立処	 分又は海洋投入タ		<u>、 </u> に関する事項				
	【前年度(令和4 年度)							
	産業廃棄物の種類	-		-	-		-	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	-	t	- t	-	t	-	t
	【目標】							
	産業廃棄物の種類	-		-	-			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	_	t	- t	-	t	_	t
産業	廃棄物の処理の委託に関 【前年度(令和4 年度)							
	産業廃棄物の種類		\Box		_		_	
	全処理委託量	_	t	- t	_	t	_	t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t	- t	_	t	_	t
	再生利用業者への 処理委託量	-	t	- t	-	t	_	t
	認定熱回収業者 への処理委託量 <u> </u>	_	t	- t	_	t	_	t
	がた然回収業有以 外 の熱回収を行う業 去	_	t	- t	_	t	_	t
					_			

(第5面)

	(免り)	47		
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	建設汚泥		その他の汚泥
	全処理委託量	3, 282. 64	t	234. 14 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	288. 88	t	80. 19 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	839. 32	t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	1	t	- t
②計画	認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	-	t	- t
	(今後実施する予定の国 【支店・現場での実施が の採用及び発注者への提 (Reduce) 方策を実施する。 を実施する。④産業廃棄 る。⑤上記の努力によっ をする。⑥掘削時に昔かる のものであっても直ぐにな「自ら利用」は行わな	施策】①建設汚泥の 案。②産業廃棄物る。③産業廃棄物を 物を再利用する(R) て発生した産業廃 らの廃棄物等が出 行政の担当窓口に	の発 と再和 ecyc 棄物 てき	生を抑制する 川用する(Reuse) 方策 le) 為の方策を実施す を法に基づき適正処理 た場合にはそれが当社
※事務処理欄				

(第5面)-2

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず
全処理委託量	1.31 t	192. 00 t	363.80 t	507.11 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1.31 t	192. 00 t	363.80 t	507.11 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.31 t	91. 98 t	341.72 t	438. 44 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

(第5面)-3

【目標】				
産業廃棄物の種類	コンクリート片	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物
全処理委託量	6, 315. 85 t	1,033.85 t	2, 923. 70 t	215.39 t
優良認定処理業者 への処理委託量	1, 303. 88 t	496. 49 t	2, 548. 51 t	215. 39 t
再生利用業者への 処理委託量	4, 366. 26 t	496. 33 t	2,064.29 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

(第5面)-4

【目標】				
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物
全処理委託量	39.77 t	498. 99 t	2. 21 t	1,005.82 t
優良認定処理業者 への処理委託量	39.77 t	496.65 t	2.21 t	1,005.82 t
再生利用業者への 処理委託量	33.08 t	326. 82 t	2.05 t	714.17 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

(第5面)-5

【目標】	1			
産業廃棄物の種類	廃蛍光ランプ類	-	-	-
全処理委託量	11.15 t	- t	- t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	11.15 t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	11.15 t	- t	- t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の種類	-	_	-	_
全処理委託量	- t	- t	- t	_
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	-
再生利用業者への 処理委託量	- t	- t	- t	_
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	_
認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	- t	- t	- t	_

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添1 処理工程図

コンクリート→破砕、アスファルトコンクリート→破砕、その他がれき類→破砕、ガラス・陶磁器くず→破砕・埋	
立、廃プラスチック類→破砕・圧縮梱包、金属くず→破砕・切断、混合廃棄物(安定型のみ)→選別・破砕・埋立、	
設汚泥→天日乾燥・脱水・固形化、紙くず→選別・圧縮・破砕、木くず→破砕、繊維くず→破砕・圧縮梱包、廃石	
ボード→選別・破砕・広域認定、混合廃棄物(管理型含む)→選別・破砕・埋立、石綿含有廃棄物→埋立、廃石綿→	
立 (可能な限り再生利用へ)	_

建設副産物管理組織表 社 長 安全推進室長 東京鉄道支店長 部 長 鉄道安全部長 部 (建設副産物処理統括責任者) (建設副産物処理統括責任者) 氏名 氏名 ①建設副産物処理計画書の事前検討 ①法令改正、指導内容等の周知 ①建設副産物処理計画書の事前検討 ②処理状況の点検と教育・指導 ②監督官庁との連絡調整 ②監督官庁との連絡調整 ③処理業者の調査と選定の指導 ③支店管理組織間の調整 ③処理業者の調査と選定の指導 4処理状況の点検・指導 ④建設副産物処理計画書の検討 ④処理状況の点検・指導 ⑤支店全体の建廃の処理実績の集計 ⑤処理実績の集計 ⑤処理実績の集計 6関係書類の保存 並びに本社報告他 6関係書類の保存 ⑦現場間における再生資源の有効 ⑦現場間における再生資源の有効 利用の連絡調整 利用の連絡調整 土木作業所長 建築作業所長 建設副産物処理責任者 建設副産物処理責任者 氏名 氏名 ①建設副産物処理計画書の作成 ②発注者及び監督官庁への対応 ③発生量の抑制、再生利用等減量化の計画的な推進 ④委託契約の締結 ⑤処理状況の確認(マニフェストの発行、照合、確認及び現地確認等) ⑥産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出 ⑦処理実績報告書の提出 ⑧処理業者、協力業者の監督、指導 9建廃の現場内での適正保管 ⑩自己(自社)処理建廃の適正な管理と処理 ⑪工事終了後の関係書類を担当部へ提出 ⑫指定副産物及び再生資源の利用促進 実施工 • 保管管理 収集•運搬業者 中間処理業者 最終処分業者 目がれき類 8 目 がれき類 目 建設汚泥 会社名 会社名 会社名 目 コンくず、ガラスくず等 目 コンくず、ガラスくず等 品 目 廃プラスチック類 会社名 会社名 目 廃プラスチック類 目 建設汚泥 믦 믊 Ħ 会社名 会社名 会社名 目 廃プラスチック類 目 木くず 会社名 会社名 会社名 目 木くず B 会社名 会社名 会社名

⁽注) 再生資源利用については図中の下線部を再生資源利用促進又は再生資源利用と読み替える。